



初めてのリモート授業

台風の影響で、今回はリモート授業となりました。緊急事態宣言が発令中ですが、体育の授業だけは対面となっていたので、どこかの教室での授業だと思っていたら、他の講座はリモートをするということになり、急遽 zoom の URL を送りました。そして、4限目の授業が始まったのですが、誰も入ってこなくて、大変焦りました。再度 zoom の URL をメールで流していると、数人が入ってきて、ホッとしました。初めに送ったメールからは zoom に入れなかったようでした。やがてほとんどの人が入ってきて、授業を開始できました。台風など警報が出る可能性がある場合は、これからは前日に連絡するようにします。対面が基本ですが、今回のようなケースでは、リモートになりますので、早めの連絡を心掛けたいです。皆さんには、大変迷惑をおかけしました。

オフサイドとは

リモート授業では、オフサイドについての学習を進めました。初めに、プレイ中のオフサイドについて、映像を見ながら説明しました。オフサイドになる場合、オフサイドにならない場合など、その判断は難しいので、実際のプレイで線審になってその判断をしてもらいます。

オフサイドの歴史

オフサイドの side とは〈チーム〉を意味することから、プレイヤーがチームを離れて(ボールより前方の位置)にいることを意味しています。オフサイドという用語がスポーツのルールではじめて用いられたのは、1845年、イギリスのラグビー校で最初にフットボールのルールを成文化したときでした。当時の若者たちはボールの前方でプレイすることを「のぞましくない行為」であると考えたのです。フットボールは元々、村や町を競技場にして行われていた「マスフットボール」が起源ですが、この頃は競技への参加者は自由に〈チームを抜け出し〉たり、〈チームを離れ〉たりすることができ、それが〈祭り〉を楽しむという目的の範囲内の行為であれば、だれにも許され認められていました。しかし、やがてこのようなフットボールが、パブリックス

クールの校庭などで行われるようになり、〈祭り〉としてではなく〈勝敗を争う〉組織的なゲームになると、自由に〈チームを抜け出し〉たり〈チームを離れ〉たりする行為が、目的に合わない行為と考えられるようになってきたのでした。オフサイドルールが生まれてくる背景には、このようにフットボールが祭りから競技へと、その性格を大きく変えてくる歴史があったのです。



みなさんの感想から(9/17)

- ・オフサイドを見極める方法を理解することができた。また、オフサイドの歴史、成り立ちを知ることができた。オフサイドの存在は知っていたが、歴史や成り立ちは知らなかったもので、とても面白かった。
- ・今日の講義ではオフサイドについて学んだ、普段の試合ではなんも考えずにボールをもらっていたけどこれからの試合ではオフサイドラインを考えながらチームと連携を取らないといけないのでチームメイトと話し合っただけで戦術を考える必要があると感じました。
- ・オフサイドのルールを詳しくは知らなかったもので、映像を使って学ぶことができてよかった。オフサイドの歴史についても学ぶことができたのでよかった。次のオフサイド学習では、実際に動きながら学ぶので、今日学んだことを意識したい。
- ・オフサイドはサッカーのルールの中でも一番判定しにくいものだと思います。プロの選手でもよくオフサイドをしているので私たちだとさらにオフサイドをしてしまいますが何回も練習して少しでもオフサイドをしないようにしたいです。
- ・オフサイドのことを学んでみて、オフサイドラインというのは決まっていなく、ディフェンスの最終ラインがオフサイドとりで場合によってオフサイドが変わってくるのでチームの人がどこにいるかを常に把握しておく必要があると思った。
- ・改めてオフサイドについて理解が深まった。今までなんとなくでしかわかっていなかったものでとても良い機会になった。オフサイドについての知識チームメイトと共有できたので、次のゲームではオフサイドトラップなども仕掛けて行こうと思う。
- ・ズームに上手く入れず遅れてしまいましたが、途中からはオフサイドのルールを知れたので良かったと思います。オフサイドのルールが大幅に変わりましたが、面白くなりそうなので、サッカーを見るのもやるのも興味深くなりました。来週はグラウンドでやりたいです。